

経営比較分析表（令和5年度決算）

高知県大月町 国保大月病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
4,477	2,103	第1種該当	-	13:1

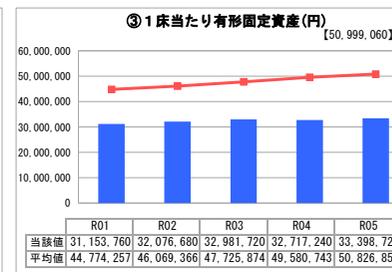
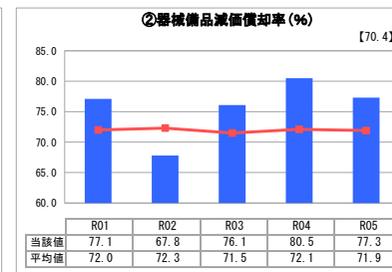
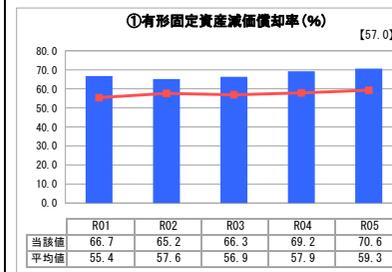
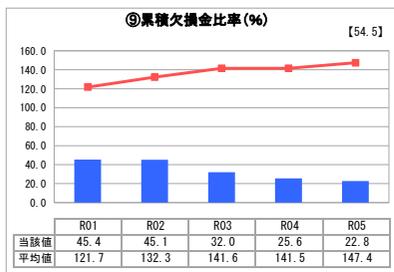
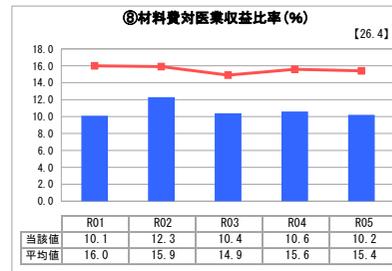
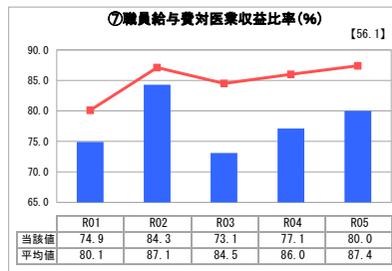
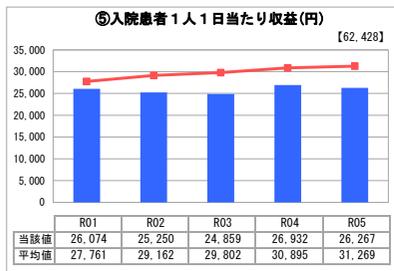
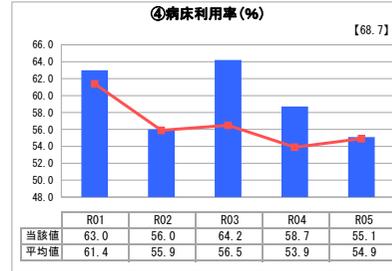
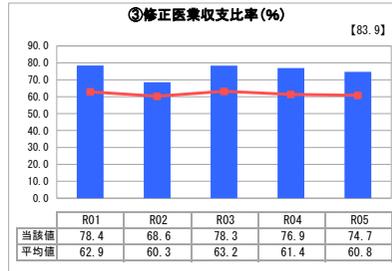
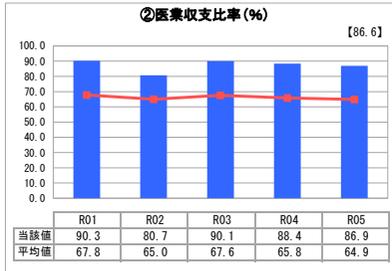
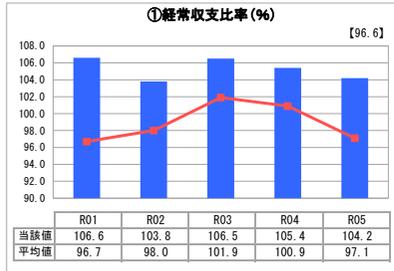
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
25	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	25
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
21	-	21

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分限・連携強化 (従来の可視・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

○町内唯一の病院として、入院医療、救急医療等の提供により過疎・高齢化が進化する中、地域住民が安心して生活できる医療を提供する。
○子供から高齢者まで、24時間365日対応できる医療体制を維持し、住民の安心・安全を確保する。
○訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ等の実施により、だれもが地域で安心して医療をうけることのできる体制づくりに努めるとともに、町全体の地域包括ケアシステムの中核としての機能を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○医業収支比率86.9%であるが、繰入等により経営収支率は100%を超えている。しかしながら医療本来の経営数値である修正医業収支率は74.7%と全国平均値を上回っているものの依然厳しい状況である。病床利用率においては人口減による影響が考えられるものの55.1%と5年間で最も低い稼働率となっている。人口減少に伴う影響は一定考えられるが、入院・外来とも患者一人当たりの収益は横ばいとなり、平均値より低く経営状況は依然厳しい。あわせて、累積欠損金が発生しており、早期の解消に努めることが必要となっている。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率において平均値を上回る指数となっており、全体に施設・器械等の老朽化が進んでいることが明示されている。医療器械については計画的に機器更新を実施している。中でも設備機器は更新時期を迎えており早急な対応が必要と思われる。今後は施設の長寿命化も含め、施設の陳腐化への対応が必要となっており、人口減による医業収支の悪化とあわせ、経営圧迫の要因となることが危惧される。

全体総括

○経営収支率は100%を超えており、単年では健全な経営状況を保っているが、累積赤字が残っていることや施設の老朽化による今後の設備更新が必要となっていることを想定すると今後より一層の経営改善が必要である。
今後は公立病院としての重要な役割である地域包括ケア体制の構築に向けた病床機能への転換や地域連携による医業収支の改善等、経営状況を踏まえた計画的な施設更新を行うことが必要と思われる。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。